

# ハラールという戦略上の選択肢 حلال

## データで読み解く訪日ムスリム客の動向

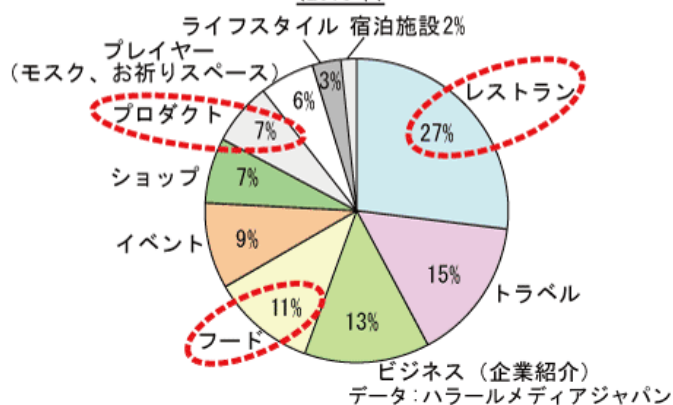
### 第12回

本連載では独自のデータを用いて、急増する訪日ムスリム（イスラム教徒）客の動向をご紹介します。ハラールメディアジャパンのサイトではこれまでの3年間で965本、2016年だけでも395本のニュースを報じました。今月はそのデータを用いて、16年の総括と17年の展望に関する考察を行いたいと思います。

### ニュースの3分の1は食関係

2016年はプロダクト（商品）のムスリム対応よりもレストラン（店舗）でのムスリム対応が進んだ

カテゴリー別ニュースの内訳  
(2016年)



まず、ご紹介するデータは「カテゴリー別ニュースの内訳」です。これは昨年（2015年）にハラールメディアジャパンが報じたニュースがどのカテゴリー（全10種）に属するかを示したもので、サービス提供者の属性を俯瞰（ふかん）できます。1位はレストラン、2位はトラベル、3位はビジネス（企業紹介）という順位でした。ハラール認証を取得するというプロダクト対応よりもレストラン対応が進んでいるのは、私がかねて参考にするべきと提言しているシンガポールのムスリム対応の歴史と重なっています。

一方で、意外と少なかったのが宿泊施設です。残念なことに、日本ならではの観光資源である旅館や温泉施設でムスリム対応が進んでいないのです。ムスリム客からのリクエストは多いものの、貸し切り風呂や食事などでの対応の難しさから、訪日客全体の増加で需給が逼迫（ひっばく）していることもあり、ムスリム対応を後回しにしている宿泊施設が多いのでしょうか。

こうした中、グループでまとまって宿泊可能で、自

分で調理もできる民泊施設が人気となっています。これは日本に限ったことではないですが、サービス提供者側にムスリム対応を求めるのではなく、自分でムスリムに適した環境を作るという現実的な判断をするムスリム旅行者が増えているのです。現に欧州や東南アジア諸国連合（ASEAN）ではムスリム民泊施設を専門に扱う事業者が出現しています。したがって今後は日本でもこうした民泊や、旅先でのムスリム向けの食材調達、ケータリングなどの需要が増えるのではないかと考えられます。

次に、実際どのようなニュースが読まれたのかを見てみましょう。

### ムスリム観光マップが引き続き人気

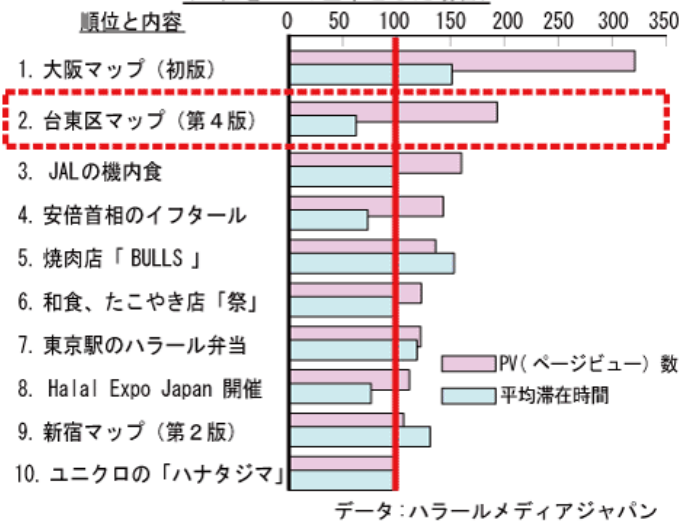
訪日ムスリム客にとって最大の問題は食事  
その解決策であるムスリム観光マップへのアクセスが多かった  
アクセスランキング・トップ10  
(2016年)

| 順位 | カテゴリー | ニュースのタイトル  |
|----|-------|--|
| 1  | トラベル  | OSAKA MAP FOR MUSLIMSを遂にリリース！大阪城や道頓堀など魅力満載！            |
| 2  | トラベル  | TOKYO MAP FOR MUSLIMSが完成！浅草、上野、谷中の見どころ盛りだくさん！          |
| 3  | トラベル  | 日本航空（JAL）が国際線便でハラール認証機内食を提供開始                          |
| 4  | イベント  | 日本の安倍首相がイフタルを主催  |
| 5  | レストラン | 大阪難波にあるハラール肉のしゃぶしゃぶ、すき焼き、ステーキ店「BULLS」                  |
| 6  | レストラン | 待望のハラールたこ焼きも！和食レストラン「祭」が大阪でOPEN                        |
| 7  | ショップ  | 東京駅のお弁当ショップ「膳まい」がハラール弁当販売開始                            |
| 8  | イベント  | 「HALAL EXPO JAPAN 2016」開催決定！テーマは「Halal for All」        |
| 9  | トラベル  | SHINJUKU MAP FOR MUSLIMSを大幅リニューアル！ゴジラ、ラーメン、カラオケなど情報満載！ |
| 10 | プロダクト | ユニクロの日本店舗でも「HANA TAJIMA FOR MUSLIM」販売開始                |

データ：ハラールメディアジャパン

「アクセスランキング・トップ10」には、ムスリム観光マップに関するニュースが3本ランクインしています。ムスリム観光マップは現在7エリア（北海道・札幌、栃木・佐野、千葉市、東京・台東区、新宿、京都、大阪）のマップを発行していますが、いずれも版を重ねるごとに発行部数を伸ばしており、ニュースリリースの際にはアクセスが集中します。上位にランクインしたニュースは、大阪では待望の初版、台東区は第4版（旧浅草版含む）、新宿は第2版に関するものでした。ここで興味深いのは、マップによってページに滞在する平均時間にばらつきがある点です。

定番となっているムスリム観光マップは  
じっくり読む前に即ダウンロードされる傾向にあった  
各ニュースのPV数と平均滞在時間の比較  
(10位を100の基準とした場合)



このチャートは、ランク 10 位のユニクロとハナ・タジマとのコラボに関するニュースを基準として、PV (ページビュー) とページの平均滞在時間を比較したものです。PV と平均滞在時間の間に大きな相関関係は確認できませんが、大阪のマップは初版であったことから両方の数値が大きくなったと推測されます。2 位にランクインした台東区のマップは既に 4 版目ということで、ニュースをじっくり読む前にマップをダウンロードするという傾向にありました。また第 2 版となった新宿は、ニュースの中でゴジラ、ラーメン、カラオケを紹介したことが奏功したのか、PV は 9 位ながら平均滞在時間は 3 位となりました。訪日客が「点」ではなく「面」を求めていることが、ここでも確認できます。

## ムスリムの旅行先として評価上昇

16 年は、海外においても日本のムスリム対応が注目された年でした。二つの国際的な機関が「日本はムスリム旅行者にとって旅行先の有力な選択肢になっている」と評価したのです。

まず、アラブ首長国連邦 (UAE) アブダビで開催されたワールド・ハラール・ツーリズム・アワードで、日本は「(ムスリムの旅行先として) 非イスラム協力機構 (OIC) 国の中で最も成長著しい市場」として表彰されました (※ 1)。これは世界 116 カ国からの投票でノミネートされた 383 のブランドと国から選出されたもので、16 年は各分野で 19 の国と団体が表彰されました。またムスリムツーリズムの格付け会社であるクレセントレーティングは、日本を「非 OIC 国のムスリムフレンドリーな旅行先として 8 位」と発表しました (※ 2)。同社は毎年、各国をランク付けしてい

ますが、日本はこれまで 23 位、17 位、11 位とランクアップし、16 年に初めてトップ 10 入りを果たしたのです。

このように国内外でさまざまな動きがある中で迎えた 17 年は、日本にとってさらに好機となる国際イベントが目白押しです。まず 2 月には札幌市と帯広市で冬季アジア大会が開催されます。約 30 のアジアの国と地域から参加する選手・役員は 1,500 人以上に上り、観客・ボランティアなどの来場者 10 万人が見込まれています。次に 5 月には日本で 10 年ぶりとなるアジア開発銀行 (ADB) の年次総会が、創立 50 周年の記念イベントとして横浜市で開催され、各国の重要閣僚を含む 5,000 人の来場が見込まれています。

さらに 17 年は日本とマレーシアの外交関係樹立 60 周年という記念の年で、年間を通じてさまざまな関連イベントが予定されています。ハラール産業の振興を国策とするマレーシアのナジブ首相は昨年末に訪日した際、同国が日本のハラール産業のアドバイザーになることを安倍晋三首相に提案しており、20 年とその後を見据えた動きを活発化させています。

トランプ米大統領の就任などで、世界の不確実性が高まるといわれる 17 年。Islamophobia (イスラームフォビア) という言葉に象徴される、世界的なイスラム教への偏見の中で、異なる宗教に寛容な日本はどのようにムスリム対応を進めていくのでしょうか。今年も、現場から得られた独自のデータを用いて解説してまいります。

※ 1 World Halal Tourism Awards “World’s Best Non OIC Emerging Halal Destination”

※ 2 CrescentRating “Best Muslim/Halal Friendly Holiday Destination Ranking”

### < 筆者紹介 >

横山真也

Yokoyama & Company (S) Pte Ltd マネジングディレクター

ハラールメディアジャパン株式会社 共同創業者

ハラール関連事業としては 2014 年元日に「世界初の英語発信による日本ハラール専門ポータルサイト」HALAL MEDIA JAPAN を開設、14 年にはハラール・ベジタリアンレストラン検索サイト・アプリ「HALAL GOURMET JAPAN」をサービスイン。日本最大のハラールトレードショーである JAPAN HALAL EXPO を 14 年と 15 年に開催、16 年には新たに HALAL EXPO JAPAN として日本初のムスリムファッションショー TOKYO MODEST FASHION SHOW と併せて東京で開催した。17 年 11 月には東京・浅草で 4 度目となる同イベントを開催する。